



ほそかわけいichi  
細川恵一 議員

# 貧困と格差問題への対応いかに

## 答 関係機関と連携して進めていく

**問** 子どもの貧困対策はどのようなものがあるのか。

**町長** 町の担当する保育所整備、相談支援事業、県の担当する児童扶養手当の増額、母子福祉資金貸付の父子家庭への拡大が挙げられる。

**教育委員長** 就学援助制度や奨学金制度の経



社会福祉協議会にも窓口があります

済的支援を引き続き行い、関係機関と連携し問題解決に向けた取り組みを推進する。

**問** 町内の実態調査はできないか。

**生活部長** 子どもだけではなく、世帯そのものの救済が課題である。世帯全体の実態を捉えていく。

**問** 地域経済を支える施策として、住宅リフォームの助成事業

### 循環型地域経済

助などの直接的な支援と、関係団体などと連携した間接的な支援がある。

**町長** 融資制度の運用と利子・保証料の補

**問** どのような振興策があるのか。

**町長** 小規模企業白書を参考として関係団体と協議しながら、地域の実情にあった小規模企業の振興策を進める。

**問** 基本法への対応は。 **法** ※小規模企業振興基本

## 答 制度の利用を推進 小規模企業振興の考えは

**町長** は再開できないか。住宅の耐震化や空き家対策など優先的に取り組む課題があるので、再開は難しい。

**問** 地域経済政策についてのは。 **町長** 小規模企業は大型店では得られない細やかなサービスを提供することができ、地域経済において大きな

役割を担っている。利用できる事業の周知に努め、農業振興とのバランスをとりながら進めていく。

※小規模企業振興基本法とは：小規模企業の振興に関する施策について、国、地方公共団体、支援機関などが一丸となって戦略的に実施することを定めた法律。

利用できる制度はありますか？  
(商工観光課)



おいかわ 及川ひとみ 議員

介護保険

総合事業の取り組みは

【答】「生活支援コーディネーター」を配置

問 平成29年度開始の総合事業の内容は、生活支援コーディネーターの配置に

町長 より関係事業所との連携を構築し、「いこいの家」を事業の一環としていく。

問 コーディネーターに専門知識が必要

町長 ではないか。

長寿健 介護問題に精通している人が良いと考えている。

問 「いこいの家」は

長寿健 現行のままか。

長寿健 地域支援事業として、新しいことを加味していきたいと考え

問 ヘルパーによる家事援助のサービスはそのまま利用できるか。

長寿健 ヘルパー援助は従来のままで、さらに地域援助が入る。

長寿健 従来のもので、さらに地域援助が入る。



お待ちかねのお昼ごはん(いこいの家)

小規模・家族農業に支援を

TPP

【答】情報発信に努める

問 TPPについての町長の見解は。

町長 農業に対する影響は大きい。支援策を有効に活用し、対策を推進していく。

問 TPP批准に反対の立場をとれないか。

副町長 町民に対してこの協定が良いのかどうか、見極めながら行動していく。

問 支援対策や補助事業を行ってほしいが、具体的な対策はあるか。

農林課長 専業農家における人材育成や兼業農



家族チカラを合わせて(りんごの枝切り)

家の経費負担軽減を進めている。畑作・果樹は家族経営向きと考え、収益の上がる品目などで対策していく。

問 小規模・家族農業に支援が届かないので、使える制度を作って補助金だけではない情報提供や発信をしてほしい。

産業部長 兼業農家に直接的な支援は難しいが、情報提供や発信はしていく。町として支援していく方向性は変わらない。